

## ◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱・咳・肺炎・菌血症で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は46例となっています。
- ・ 梅毒の報告が1例(10歳代女性)(第31週追加報告分)あり、推定感染地域は国内で、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は43例で昨年同時期(23例)の約2倍と、非常に早いペースで増加しています。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.05(44例)となり、前週 0.76(32例)から増加しました。第31週以降、報告が急増し、本市過去5年平均値を大きく上回っています。

## ◆ 今週のトピックス:< 百日咳 >

- ・ 京都市の百日咳の報告は、第1週および第23週の各1例に加え、第32週に1例の報告があり、年間累積報告数が3例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核なし、その他結核 2例、潜在性結核感染者 1例)喀痰塗抹陽性なし  
【1月以降の累積報告数 209例(肺結核 108例、その他結核 32例、潜在性結核感染者 69例)うち喀痰塗抹陽性 55例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 46例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 43例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点42、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.02	85
	② 手足口病	2.00	84
	③ RSウイルス感染症	1.05	44
	④ 咽頭結膜熱	0.69	29
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	25
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

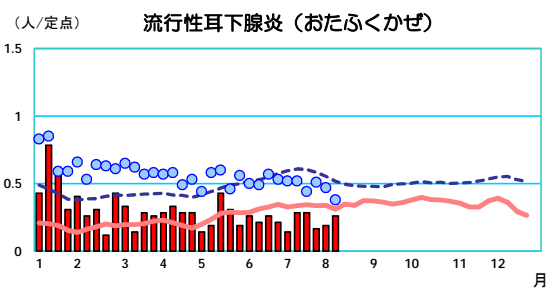
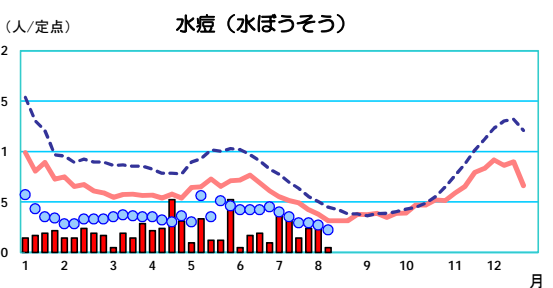
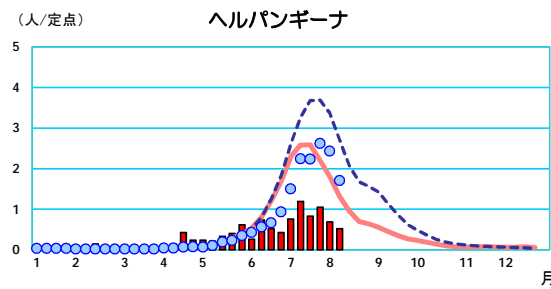
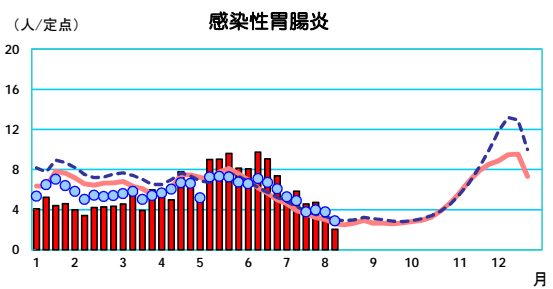
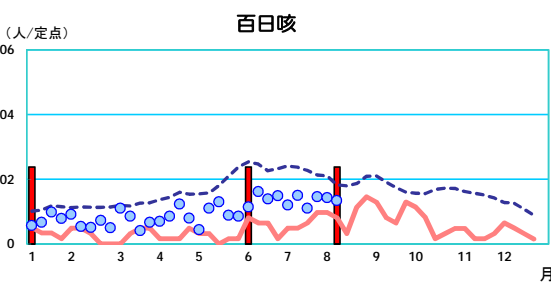
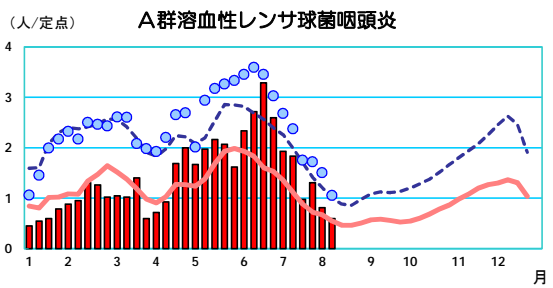
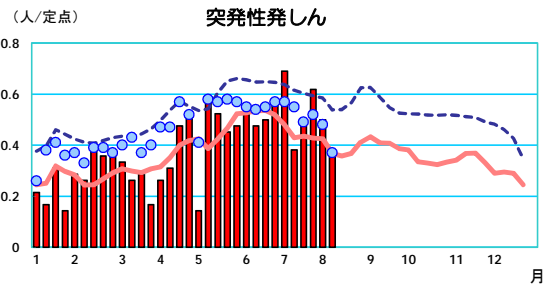
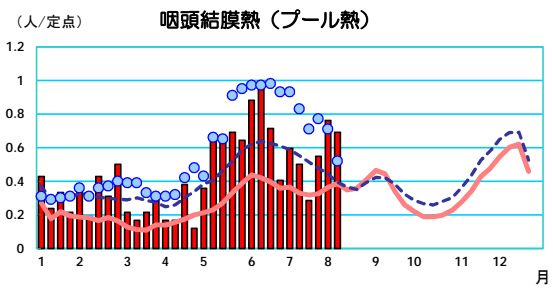
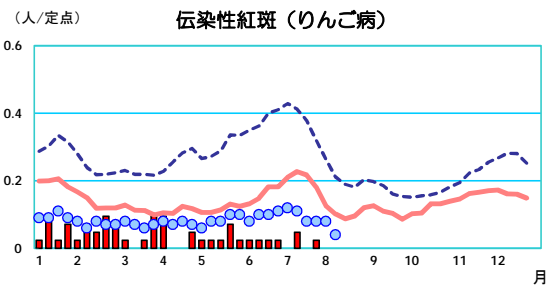
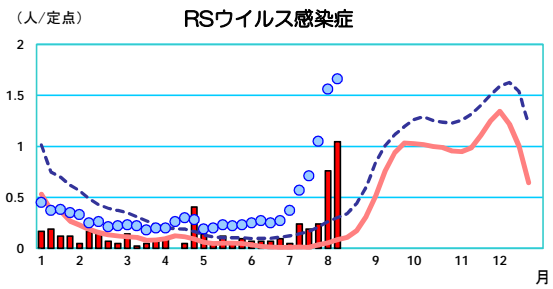
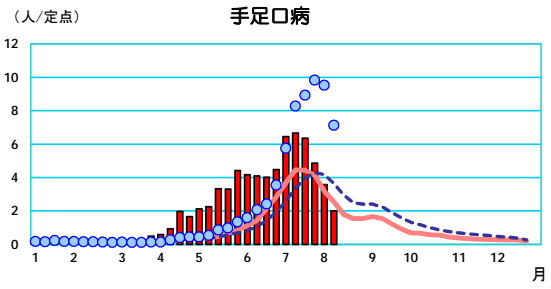
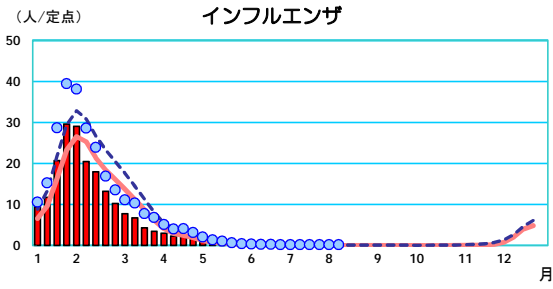
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:< 百日咳 >

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年8月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第32週(8月7日～8月13日) トピックス: &lt;百日咳&gt;

京都市の百日咳の報告は、第1週および第23週の各1例に第32週の1例が加わり、年間累積報告数が3例となりました。定点当たり累積報告数は0.07で、全国の0.31を下回っています(表1)。

過去5年間の動向を累積報告数で見ると、京都市では5例～16例、全国ではおよそ1,700例～4,100例で推移しています(表1)。年ごとの発生動向は京都市と全国で似た傾向にあります(図1)。

累積報告数を定点当たりで見ると、京都市では0.12～0.38、全国では0.53～1.30で推移し(表1)、京都市は過去5年間、全国の約1/3～1/4になっています(図2)。

百日咳は、百日咳菌の感染を原因とする、けいれん性の咳を特徴とする急性気道感染症です。普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増し、程度も激しくなります(約2週間持続)。その後、連続的な短い咳と、吸気時のヒュー音とを繰り返します(約2～3週間持続)。百日咳と言われるとおり、長い期間症状が持続します。

乳児期の早い時期から成人まで、広い年齢層で罹患します。乳児期早期では特徴的な咳がなく、無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することもあります。成人では典型的な咳症状がないために軽視されがちですが、菌の排出があるため、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源になる場合があります。

百日咳の確定診断は培養による百日咳菌の検出や遺伝子の検出によります。

百日咳は感染症法に基づく5類感染症(定点把握疾患)となっていますが、今秋にも届出基準等が改正され、来年(平成30年)1月に5類感染症(全数把握疾患)となる予定です。

改正の背景としては、次のような理由があげられます。

- ・15歳以上の罹患者の割合が増加した。
- ・小児科定点把握疾患であるため成人を含む患者の発生動向が把握されにくい。
- ・定点把握では症例の詳細が把握できない。
- ・疾患に特異的な届出基準がなく臨床診断によるため、類似する他疾患を含む可能性があり、報告の特異度が低い。
- ・定点把握は即時性に劣るため集団発生への適時対応がとりにくい。

感染症法に基づく5類感染症(全数把握疾患)は、診断した全ての医師が、患者の発生について届出を行う感染症です。新たに定められる届出基準をもとにした診断と百日咳発生届での報告が必要となります。今後の予定、届出基準(案)や発生届(案)などについては下記のホームページを御覧ください。

【厚生労働省】百日咳に係る届出基準等の改正について(案)、平成29年6月19日付、PDFファイル

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/shiryous3.pdf>

【国立感染症研究所】百日咳とは

<https://www.niid.jp/niid/ja/kansennohanashi/477-pertussis.html>

おことわり:今週のトピックスは、主に医療関係者向けの内容となっています。

表1 京都市と全国の累積報告数の推移

	累積報告数		定点当たり累積報告数	
	京都市	全国	京都市	全国
平成24年	16	4,087	0.38	1.30
平成25年	5	1,662	0.12	0.53
平成26年	7	2,066	0.17	0.66
平成27年	13	2,675	0.31	0.85
平成28年	10	3,011	0.24	0.95
平成29年32週まで	3	977	0.07	0.31

図1 累積報告数の推移

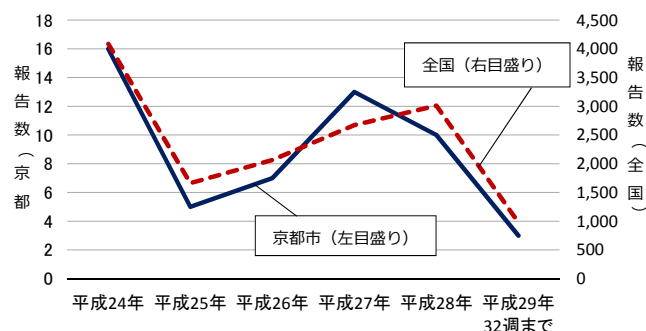
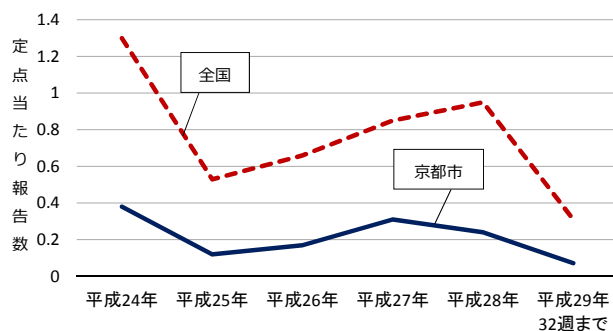


図2 定点当たり累積報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第32週

疾病,行政区別報告数

平成29年8月7日～平成29年8月13日

データ入手日:平成29年8月16日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細 菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1					
北	-	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1					
上京	-	3	-	2	10	-	6	-	2	-	-	-	-	1					
左京	-	8	-	2	14	-	12	-	1	-	1	3	-	-					
中京	-	2	-	-	2	-	5	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	8	2	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	1	2	1	4	-	1	-	2	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-						
南	-	1	2	1	2	1	2	-	-	-	1	1	-						
右京	-	8	21	9	11	-	22	-	3	-	1	4	-	1					
伏見	-	13	3	8	31	-	24	-	7	-	12	3	-	1					
西京	-	-	-	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	44	29	25	85	2	84	-	15	1	22	11	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細 菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	1.00					
北	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	1.00					
上京	-	1.00	-	0.67	3.33	-	2.00	-	0.67	-	-	-	-	1.00					
左京	-	2.00	-	0.50	3.50	-	3.00	-	0.25	-	0.25	0.75	-	-					
中京	-	0.67	-	-	0.67	-	1.67	-	-	0.33	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	4.00	1.00	-	3.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	0.25	0.50	0.25	1.00	-	0.25	-	0.50	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00	-	-						
南	-	0.33	0.67	0.33	0.67	0.33	0.67	-	-	-	0.33	0.33	-						
右京	-	1.60	4.20	1.80	2.20	-	4.40	-	0.60	-	0.20	0.80	-	1.00					
伏見	-	1.86	0.43	1.14	4.43	-	3.43	-	1.00	-	1.71	0.43	-	0.50					
西京	-	-	-	0.20	1.00	-	0.80	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	1.05	0.69	0.60	2.02	0.05	2.00	-	0.36	0.02	0.52	0.26	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第32週

疾病,行政区別報告数

平成29年8月7日～平成29年8月13日

データ入手日:平成29年8月16日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1					
北	-	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1					
上京	-	3	-	2	10	-	6	-	2	-	-	-	-	1					
左京	-	8	-	2	14	-	12	-	1	-	1	3	-	-					
中京	-	2	-	-	2	-	5	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	8	2	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	1	2	1	4	-	1	-	2	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-						
南	-	1	2	1	2	1	2	-	-	-	1	1	-						
右京	-	8	21	9	11	-	22	-	3	-	1	4	-	1					
伏見	-	13	3	8	31	-	24	-	7	-	12	3	-	1					
西京	-	-	-	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	44	29	25	85	2	84	-	15	1	22	11	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	1.00					
北	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	1.00					
上京	-	1.00	-	0.67	3.33	-	2.00	-	0.67	-	-	-	-	1.00					
左京	-	2.00	-	0.50	3.50	-	3.00	-	0.25	-	0.25	0.75	-	-					
中京	-	0.67	-	-	0.67	-	1.67	-	-	0.33	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	4.00	1.00	-	3.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	0.25	0.50	0.25	1.00	-	0.25	-	0.50	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00	-	-						
南	-	0.33	0.67	0.33	0.67	0.33	0.67	-	-	-	0.33	0.33	-						
右京	-	1.60	4.20	1.80	2.20	-	4.40	-	0.60	-	0.20	0.80	-	1.00					
伏見	-	1.86	0.43	1.14	4.43	-	3.43	-	1.00	-	1.71	0.43	-	0.50					
西京	-	-	-	0.20	1.00	-	0.80	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	1.05	0.69	0.60	2.02	0.05	2.00	-	0.36	0.02	0.52	0.26	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第32週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年8月16日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	1	7	5	12	-
RSウイルス感染症		2	10	8	10	32	44
咽頭結膜熱		25	21	12	23	32	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		81	77	41	55	34	25
感染性胃腸炎		235	245	191	198	160	85
水痘		18	15	6	10	11	2
手足口病		271	280	267	204	150	84
伝染性紅斑		-	2	-	1	-	-
突発性発しん		29	16	20	26	21	15
百日咳		-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ		32	50	35	44	29	22
流行性耳下腺炎		6	12	12	7	8	11
急性出血性結膜炎		-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎		5	6	7	8	5	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		705	735	606	592	494	323

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.01	0.01	0.10	0.07	0.17	-
RSウイルス感染症		0.05	0.24	0.19	0.24	0.76	1.05
咽頭結膜熱		0.60	0.50	0.29	0.55	0.76	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.93	1.83	0.98	1.31	0.81	0.60
感染性胃腸炎		5.60	5.83	4.55	4.71	3.81	2.02
水痘		0.43	0.36	0.14	0.24	0.26	0.05
手足口病		6.45	6.67	6.36	4.86	3.57	2.00
伝染性紅斑		-	0.05	-	0.02	-	-
突発性発しん		0.69	0.38	0.48	0.62	0.50	0.36
百日咳		-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ		0.76	1.19	0.83	1.05	0.69	0.52
流行性耳下腺炎		0.14	0.29	0.29	0.17	0.19	0.26
急性出血性結膜炎		-	-	-	0.10	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.60	0.70	0.80	0.50	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		17.16	17.95	14.90	14.73	12.03	8.07

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。